

平成29年度スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール

企画提案書

※青字部分は、企画提案書提出時には削除すること。

1. 学校名、学校長名

ふりがな
学校名：

ふりがな
学校長名：

※学校名、学校長名には、ふりがなを付けること。

研究を実施する学科：

※「単独学科での実施」もしくは「学科連携による実施」どちらか一つを選択すること。（「学科連携による実施」とは、各学科において優れた実践研究を実施するとともに、複数の学科が連携して取り組むことにより相乗的な成果が期待できる提案が該当する。連携した活動等がごく一部に限られているような企画提案は該当しない。）

単独学科での実施	農業	工業	商業	水産	家庭	看護	情報	福祉	その他

※「単独学科での実施」を選択した場合は、該当する学科欄に1つ○を記入すること。

学科連携による実施	農業	工業	商業	水産	家庭	看護	情報	福祉	その他

※「学科連携による実施」を選択した場合は、該当する複数の学科欄に○を記入すること。なお、「学科連携による実施」を希望する場合は、各学科において育成する人材像等について明確にした上で、具体的な研究計画や活動内容等を学科別に分かりやすく記入すること。

2. 所在地、電話番号、ファクシミリ番号

所在地：

電話番号：

ファクシミリ番号：

3. 研究開発課題名

※研究内容を分かりやすく簡潔に示すもので、100文字以内（サブタイトルがある場合、サブタイトル分を含む）で記入してください。

※指定校となった場合、研究開発課題名を報道発表資料等で公開しますので御留意ください。

4. 研究の概要

※5. を要約して記載してください。

5. 研究の内容等

I ○○学科における研究内容

※「学科連携による実施」を希望する場合は、(1)～(5)の各項目の中で、社会的ニーズや他学科と連携して取り組む研究の目的、目標、新規性、具体的で一貫性のある研究計画等についても示すとともに、他学科との取組が有機的に連携し、相乗的な成果が期待できることを説明してください。

(1) 教育界や産業界等における現状、課題(社会的ニーズ)等

(留意点)

- ・ 研究を実施する学科、研究内容を設定する背景となった教育界や産業界等における現状、課題(社会的ニーズ)等について説明してください。

(2) 目的

(留意点)

- ・ 上記(1)の現状や課題に対し、どのような教育プログラムを開発し、どのような人材を育成することで解決に資するのか、事業の目的について記載してください。
- ・ 地域の人材育成・人材確保にどのように資する内容であるのか記載してください。

(3) 目標

(留意点)

- ・ 事業の目標(終了時に目指す到達点)について記載してください。

- ・評価基準となる指標（定性・定量目標）について記載してください。

(4)先導性、新規性

(留意点)

- ・過去の類似の研究と比較し、どこがどのように違うのか、明らかにしてください。
- ・事業内容の実用性や得られる事業成果の普及可能性についても言及してください。

(5)研究計画

(留意点)

- ・3年間（専攻科を含む場合は最大5年間）で何をどこまで行い、何をどこまで明らかにしようとするのか、具体的な計画を示してください。その上で、各年次ではどこまで行うのか、明示してください。

<1年次>

<2年次>

<3年次>

II △△学科における研究内容 ※「学科連携による実施」を希望する場合は記入すること。

※「学科連携による実施」を希望する場合は、(1)～(5)の各項目の中で、社会的ニーズや他学科と連携して取り組む研究の目的、目標、新規性、具体的で一貫性のある研究計画等についても示すとともに、他学科との取組が有機的に連携し、相乗的な成果が期待できることを説明してください。

上記(1)～(5)と同様の項目に沿って記載。

6-1. 指定校の教育課程

複数の学科がある場合は、学科別に分かりやすく記入すること。

(1) 初年度の教育課程

研究初年度に予定している教育課程表を添付してください。（別紙添付可）

(2) 生徒の卒業単位数

スーパー・プロフェッショナル・ハイスクールの研究開発の対象となる教育課程を履修する生徒の卒業単位数を記入してください。（総単位数及びそれに占める専門教科・科目の単位数）

6-2. 教育課程の基準によらない教育課程の編成及び実施予定

○下記の（ ）内のいずれかに○をつけること

当該調査研究を実施するに当たり、学校教育法施行規則第 85 条又は第 108 条第 2 項による教育課程の基準によらない教育課程の編成及び実施の予定が（ある・ない）。

○必要となる教育課程の特例

学校設定教科・科目は、現行学習指導要領の下で実施可能であり、「学校教育法施行規則第 85 条又は第 108 条第 2 項による教育課程の基準によらない教育課程の編成」には該当しない。

7. 研究の実施方法及び効果測定等の方法

「緊密な連携・協力を図りつつ」等の抽象的な用語はなるべく避け、具体的に誰が、何を行うのかを（なるべく箇条書きで）記入してください。

I ○○学科における研究の実施方法及び効果測定等

※「学科連携による実施」を希望する場合は、(1)～(2)の各項目の中で、他学科と連携して取り組む研究の実施方法及び効果測定等についても示してください。

(1) 研究の内容・方法

(留意点)

- ・ 計画している研究の内容について、特徴やポイントを記載してください。
- ・ 計画しているそれぞれの取組を実施するに当たっての研究のねらい、実施時期及び期間、教育課程上の位置付け、協力機関、実施場所、設備・機器（使用目的、使用頻度）、実習材料等について詳細かつ具体的に記載してください。
- ・ どのような機関とどのように連携するのか、機関ごとの役割分担が明確になるよう記載してください。

(2) 効果測定について

(留意点)

- ・ 研究により得られる効果をどのように測定するのか記載してください。
- ・ 定性的・定量的な測定方法とするよう留意してください。

II △△学科における研究の実施方法及び効果測定等

※「学科連携による実施」を希望する場合は記入すること。

※「学科連携による実施」を希望する場合は、(1)～(2)の各項目の中で、他学科と連携して取り組む研究の実施方法及び効果測定等についても示してください。

上記(1)～(2)と同様の項目に沿って記載。

8. 研究期間終了後の見通し

研究成果の普及や、研究期間終了後の継続計画など、研究終了後の見通しについて記入してください。複数の学科がある場合は、学科別に分かりやすく記入すること。

9. 活動内容・時期

複数の学科がある場合は、学科別に表を作成するなどして、分かりやすく記入すること。

<初年度の活動>

活動時期	活動の内容
4月	
5月	
6月	
7月	
8月	
9月	
10月	
11月	
12月	
1月	
2月	
3月	文部科学省へ事業完了報告書等を提出

10. 長期計画

複数の学科がある場合は、学科別に表を作成するなどして、分かりやすく記入すること。

活動時期	活 動 の 内 容
1 年次	3 年間（専攻科を含む場合は最長 5 年間）を見通した計画とした上で、年次ごとの重点を明確化し、各年次の重点が 3 年（5 年）の計画の中でどのような位置付けとなるのが明らかになるよう、記載してください。
2 年次	
3 年次	
	(専攻科を含んだ取組を行う場合は、最長 5 年次まで記入)

11. 研究指定校加配の希望有無(公立のみ)

○下記の () 内のいずれかに○をつけること

※ただし政府予算の状況により、必ず加配が認められるとは限らないので留意すること。

当該調査研究を実施するに当たり、公立高等学校の適正配置及び教職員定数の標準等に関する法律第22条第5号に基づく研究指定校にかかる加配教員の希望が (ある ・ ない)。

12. その他(特記事項)

13. 学校の概要

・生徒数、学級数、教職員数は平成28年5月1日現在で記入してください。

(1) 学年・課程・学科別生徒数

(本科)

課 程	学 科	第1学年			第2学年			第3学年			第4学年以上			計		
		定員	実生徒数	学級数	定員	実生徒数	学級数	定員	実生徒数	学級数	定員	実生徒数	学級数	定員	実生徒数	学級数
全日制	〇〇科													0	0	0
	××科													0	0	0
定時制	△△科													0	0	0
通信制	△△科													0	0	0
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(専攻科)

課 程	学 科	第1学年			第2学年			計		
		定員	実生徒数	学級数	定員	実生徒数	学級数	定員	実生徒数	学級数
全日制	〇〇科							0	0	0
	××科							0	0	0
定時制	△△科							0	0	0
通信制	△△科							0	0	0
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0

・専攻科を含んだ取組を行う場合は、専攻科の表も記載してください。

・コースを設定している場合には「学科」欄の右側に列を追加するなどして適宜記入してください。

・学級ごとの人数ではなく、各学科各学年の全学級分の合計生徒数を記入してください。

(2)教職員数

校長	教頭	教諭	養護教諭	非常勤講師	実習助手	事務職員	司書	計
								0

・副校長、主幹教諭、常勤講師など、上表にない職名の者がいる場合は欄を適宜追加してください。

(3)外部人材の活用状況

--

(4)入試倍率(前3年度入学生分)

課 程	学 科	平成〇〇年度入学		平成〇〇年度入学		平成〇〇年度入学	
		推薦	一般	推薦	一般	推薦	一般
全日制	〇〇科						
	××科						
定時制	△△科						
計							

(5)主な産振設備

--

14. 学校のこれまでの取組

(1) 職業教育に関する教育課程等の特色

職業教育に関する教育課程や指導方法等についての特色を具体的に記入してください。

(2) 大学、高等専門学校、専門学校、研究機関、地域社会との連携状況

(3) 地域の小学校、中学校、高等学校との連携状況

(4) 職業教育に関するクラブの活動状況

当該学校における職業教育に係るクラブの種類、所属人数、競技会等への参加状況等について記入してください。

(5) 卒業後の状況

進路先ごとの人数・割合、進学者と就職者の割合、主な進学先・就職先、業種別及び職種別就職状況などについて、表を用いるなどして記入してください。

(6)研究歴等(文部科学省の指定事業等)

過去5年以内に文部科学省又は都道府県の研究指定校事業等を行った場合及び過去5年以内に競技会等に入賞したものを記入してください。

(7)今回の提案の研究課題に関連する取組

今回提案の研究課題に関連する取組をこれまで行ってきた場合、その内容及び成果と、研究開発課題とのつながりが分かるよう具体的に記入してください。

15. 研究開発の規模

- ・「〇〇学科において実施する」、「全校で実施する」、等のように研究開発の規模を記入してください。

16. 研究組織

- ・校長や教頭も含め、研究に参画する者全員について記入してください。

(1)研究組織の概要

- ・教育委員会や外部有識者も含め、研究組織全体について図を用いるなどして記載してください。

(2)研究担当者

氏名	職名	役割分担・担当教科

- ・指定校内で研究実務を担当する者について表中に簡潔に記入してください。
ただし、人事異動の都合等で担当者が未確定の場合は、現在、研究実務を担当している者を記入し、確定後、直ちに名簿を再提出してください。

(3)研究推進委員会

氏 名	所属・職名	役割分担・専門分野等

- ・指定校は、研究の企画・運営・評価を行う研究推進委員会を設けるものとします。
研究推進委員会に第三者を含めるかどうかは任意とします。
- ・上表には研究推進委員会を構成する人員について記入してください。
ただし、人事異動の都合等により未確定の場合や職名により指定する場合については、その職名及び所属を記すこととし、それ以外の場合についても役割や専門分野等は必ず記してください。

(4)研究推進委員会の活動計画

(5)校内における体制

- ・研究の推進に係る校内の体制について概略図を作成してください。
- ・「学科連携による実施」を希望する場合、学科間の連携体制について記入してください。

(6)上記(5)の活動計画

17. 教育委員会、知事部局又は国立大学法人の支援・指導体制等

- ・教育委員会や知事部局、国立大学法人による学校の研究実施に対する支援や指導の体制について記入してください。

(1)運営指導委員会の概要

- ・実施要項に定める運営指導委員会について記入してください。

(2)運営指導委員会

氏 名	所属・職名	役割分担・専門分野等

- ・上表には運営指導委員会を構成する人員について記入してください。
ただし、人事異動の都合等により未確定の場合や職名により指定する場合については、その職名及び所属を記すこととし、それ以外の場合についても役割や専門分野等は必ず記してください。

(3)運営指導委員会の活動計画

- ・指定校に対する支援・指導の活動計画について記入してください。

(4)その他の指導・支援体制

- ・運営指導委員会以外に指定校の研究を指導・支援する取組を予定している場合、概要及び活動計画を記入してください。

18. 研究のイメージ図(A4判1枚で作成し添付すること)

- ・研究の概要が分かる概要図等をA4判1枚で作成し、添付してください。
なお、本資料については、本事業について対外的に説明する際の資料として使用することや、ホームページに掲載することを予定しているため、生徒の写真等を掲載する場合には、著作権法等の関係法令に基づき、著作権者の許諾や被写体の了解を得る等、適切に処理をした上で提出してください。